

氏 名：端山 淳子

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第 240 号

学位授与年月日：2023 年 9 月 19 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 小林 京子（聖路加国際大学教授）

副査 中山 和弘（聖路加国際大学教授）

副査 五十嵐 ゆかり（聖路加国際大学教授）

副査 有森 直子（新潟大学教授）

論文題目：食物アレルギーの治療法を検討する親子のよりよい意思決定を支える
ディシジョンエイドの開発：混合研究法による親子への影響の検討

博士論文審査結果

端山淳子氏の博士論文は、小児に多い疾患である食物アレルギーの治療法の一つである経口免疫療法についての意思決定ガイドを開発し、治療法選択における親の意思決定葛藤の減少、意思決定における親子間の協働の促進への効果を検証することを目的としている。研究は混合研究法説明的順次デザインで、研究協力の得られた 1 施設の研究参加者、親 9 名・子ども 4 名のデータを収集した。結果として、意思決定ガイドの介入の影響として、介入後 1 週間時点での親の意思決定葛藤の有意な改善と、親の子どもの治療に対する気持ちを知ることや子どもが意思決定に関与することの重要性への気づき、親子で意思決定を協働していこうとする意識の高まりが明らかになった。

審査では、経口免疫療法に関する医療の現状についての背景の追記、子どもへのインタビュー方法の追記、混合研究法のダイアグラムの修正、メタ推論の記述内容と論文構成、質問紙で収集した量的データの記述統計の追記、インタビューデータの提示方法の修正、ジョイントディスプレイに含む内容の再検討についての指摘がされた。上記について、適切な修正がされた。

端山氏の研究は、代理意思決定を求められる親に意思決定葛藤だけでなく、親が治療を受ける子どもと協働あるいは相互作用しながら意思決定することを促進する意思決定ガイドの開発を目指したもので、これは子どもの医療に対して親子双方を支援する新規性の高いツールである。本研究の対象者数は限られたが、丁寧な記述と、一つ一つのデータを熟慮し、研究目的に対して十分な結果を提示している。端山氏は、本テーマに関連する子どもと親への支援をしたいという情熱を持ちつつ、論理的な思考と研究方法を用いて自律的・自立的な研究活動をし

てきたことも評価された。以上により、本論文は、本学学位規程第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。